

築一五〇年の町家で学ぶ

# 伏見賢人講座

参加費無料・定員30名(先着順)

伏見区には3つの大学があり、それぞれが高い研究成果を有し、また地域と連携した実践活動を行っています。一方で社会課題を解決することを目指すNPOやボランティア団体も様々な分野で多数活躍しています。

これら伏見の「知の資源」ともいべき大学や団体のみなさんが、それぞれの専門分野の活動を語る連続講座を開きます。この講座では講師による1時間の講義の後、参加者を交えたフリーディスカッションを1時間行うことにより学びを深めるとともに、課題解決へのヒントを得ることを狙っています。築150年の町家で畳の上に座り、文字通りの「座学」を体験してみませんか？

日時：平成25年11月2日～平成26年3月15日(全7回)

14:00～15:00 講義 15:00～16:00 フリーディスカッション

場所：龍谷大学深草町家キャンパス

京都市伏見区深草直違橋6丁目303番地  
(京阪電車藤森駅徒歩5分 深草駅徒歩7分)

主催・問い合わせ

特定非営利活動法人

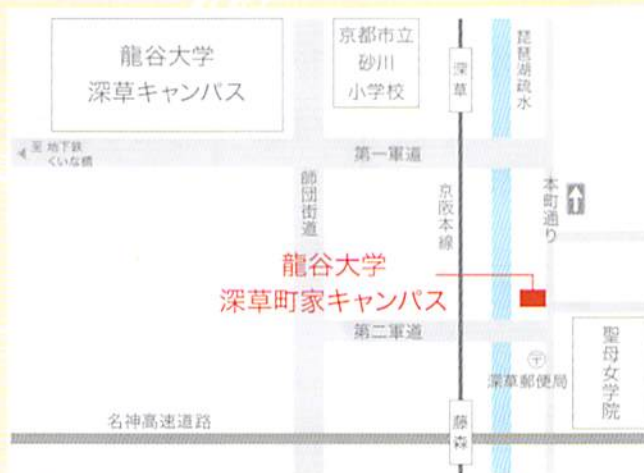
深草・龍谷町家コミュニティ

京都市伏見区深草直違橋6丁目303番地

TEL&FAX 075-644-7760

E-mail info@f-machiya.com

※この事業は伏見区区民活動支援事業の補助を受けています  
(協力：伏見区役所深草支所)





# ＜各回の講師紹介・講座概要＞

## 第1回 11月2日(土)

「認定こども園ってなに?～認可外保育園10年間の歩みと喜び」  
講師：森 一純さん

(特定非営利活動法人エンゼルネット 理事長)



プレスクール・エンゼルネットは、「必要な時だけ利用できる保育園と幼児教室が合体した教育の場がほしい」と考えていた森さんの思いが形となり10年前に教室が立ち上がりました。近年、国も【幼保一体型】の施設づくりに力を入れるようになってきましたが、エンゼルネットは小さいながらも既にこの考え方を実践してきています。

認可外保育園という制約がある中で活動してこられた森さんに、活動の経緯やご苦労をお話していただきます。「幼稚園と保育園はどこが違うの?」という若い皆さんや、「認定こども園ってどんなメリットがあるの?」というお母さん方のご参加をお待ちしています。

## 第2回 12月14日(土)

「希望を生み出す、自分らしい生き方ーNGOで働く意味を語る」  
講師：野田 沙良さん

(特定非営利活動法人アクセスー共生社会をめざす市民の会 事務局長)



アクセスは、日本とフィリピンで貧困問題にとりくむ、国際協力NGOです。貧困をなくしたいと思う市民が出会い、協力し、フィリピンの人々とともに活動しています。主な活動は、貧しい子どもたちや若者のための教育支援事業、働きたい女性のための仕事の創出事業などです。

20代で一般企業からアクセスに飛び込み、数度の経営危機を乗り越えながらアクセスを社会から信頼されるNGOにしようと奮闘してこられた野田さんのお話は、他の分野のNPOの皆さんや地域課題に取り組む皆さんの参考となることでしょう。また、将来の進路を考えている若い皆さんのご参加もお待ちしています。

## 第3回 1月18日(土)

「大学と協働して行う商店街活性化策」

講師：三井 照雄さん(深草商店街振興組合 代表理事)

加藤 博史さん(深草暮らしの交流サロン運営委員会 座長・龍谷大学短期大学部 教授)



京阪藤森駅を中心に広がる深草商店街は、50軒以上の店舗や事務所などで構成されています。100円商店街や素人夜店など、商店街活性化のための独自の活動も注目を集めています。

特に空き店舗を活用してオープンした深草暮らしの交流サロン「ふかふか家」は、カフェでのお茶やランチ、子育てや健康をテーマに暮らしを豊かにする取り組みなどを行っています。商店街や行政だけでなく、近隣の大学やNPOとも連携して地域との交流を目指しています。この取組の中心メンバーお二人に、商店街活性化への想いを語っていただきます。

## 第4回 2月1日(土)

「ゴミの山から緑の山へ～大岩山はこのようにしてよみがえった」  
講師：武田 一郎さん

(ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会委員長・京都教育大学教授)



ゴミの山という汚名を着せられていた大岩山。これではいけないと危機感を抱いた行政や地域住民が不法投棄一掃作戦を始めたのは平成19年でした。「やればできる」と自信を深めた皆さんは14日に亘る「大岩山ワークショップ」を開き、市民ぐるみの活動を広げました。

「ゴミの不法投棄や竹林の荒廃などによって損なわれた深草丘陵の環境を回復させ、それを維持する」活動により、大岩山は今では自然の魅力を活かす里山へと蘇りました。その活動の中心メンバーの一人である武田さんに、活動の成果を語っていただきます。

## 第5回 2月15日(土)

「高齢者でも気軽にパソコンが出来る～花パソコンのチャレンジを聞く」  
講師：馬場 次代さん(特定非営利活動法人花パソコン 理事長)



花パソコンは8年前に普通の主婦2人が、「子育てを終えた女性の皆さんや障害を持つ方、高齢者の暮らしに役立つ実用的なパソコン教室」として始めました。今では14名のインストラクターが「まだまだひと花もふた花も咲かせたい」と活動しています。

特に最近では、タブレットを使って音楽を演奏する「iPad合奏クラブ」という、おそらく花パソコンが日本で最初に始めたユニークな音楽活動が全国の注目を集めています。

当日は馬場さんのお話の後メンバーによるiPad演奏をお聞きし、さらには参加者の皆さんにiPadを触っていただき、iPadの楽しいアプリ、役に立つアプリなどを体験していただきます。これからパソコンを始めたいという高齢者の方や、iPad演奏に興味のある方の参加をお待ちしています。

## 第6回 3月1日(土)

「あれから3年 避難者はいまどうしているのか?」

講師：西山 祐子さん(みんなの手 代表)



東日本大震災から3年が経ちます。世間では早くも「風化」ということすら言われ始めていますが、被災地のみならず各地に避難してきた人もまだまだ苦勞されています。京都にも福島を中心に1000人近い人々が避難して来られています。

避難者同士の交流や情報発信の場を作り、避難者の就労を少しでも手助することを目的として2013年5月にオープンした「みんなのカフェ」では、避難者だけでなく地域とつながる新しいコミュニティづくりの場を目指しています。

最初からこの活動を推進してきた西山さんに、活動への想いを語っていただきます。

## 第7回 3月15日(土)

「知の財産を活かしていくために我々にできること」

1～6回の講師によるミニシンポジウム



コーディネータ：井上 芳恵  
(深草・龍谷町家コミュニティ事務局長・龍谷大学政策学部 准教授)

6回に亘り「伏見の賢人」の皆さんにお話ししていただいた内容を基に、どのような地域課題があり、その解決に向けてどんな方策が取れるのかを話し合ってください。この連続講座をきっかけとして、新しいネットワーク構築の可能性も探ります。

## 伏見賢人講座 申込書

■参加をご希望の回にチェックをいれてください。

- 第1回(11/2) 第2回(12/14) 第3回(1/18) 第4回(2/1)  
第5回(2/15) 第6回(3/1) 第7回(3/15) 全回通し

■お名前

■ご住所

■ご連絡先

お申し込み方法

必要事項をご記入の上、電話、FAX、E-MAILにて下記までお申し込みください。

〒612-0889

京都市伏見区深草直道橋6丁目303番地 特定非営利活動法人深草・龍谷町家コミュニティ「伏見賢人講座」係  
TEL&FAX 075-644-7760 E-mail info@f-machiya.com ※頂いた情報はこの講座の連絡にのみ使用し、他には使用しません。